

令和2年度 市政アンケート調査 第6回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の男女624人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 :令和2年4月15日から令和3年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 郵送または電子メール
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第6回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和2年12月10日から12月24日まで
- (2) 調査対象者数
- 620人
- (3) 回答者数
- 530人
- (4) 有効回答率
- 85.5%
- (5) 調査テーマ
- ①「家庭ごみ」について
 - ②「福岡市の広報活動」について
 - ③「ユニバーサル都市・福岡」について
 - ④「消防団」について

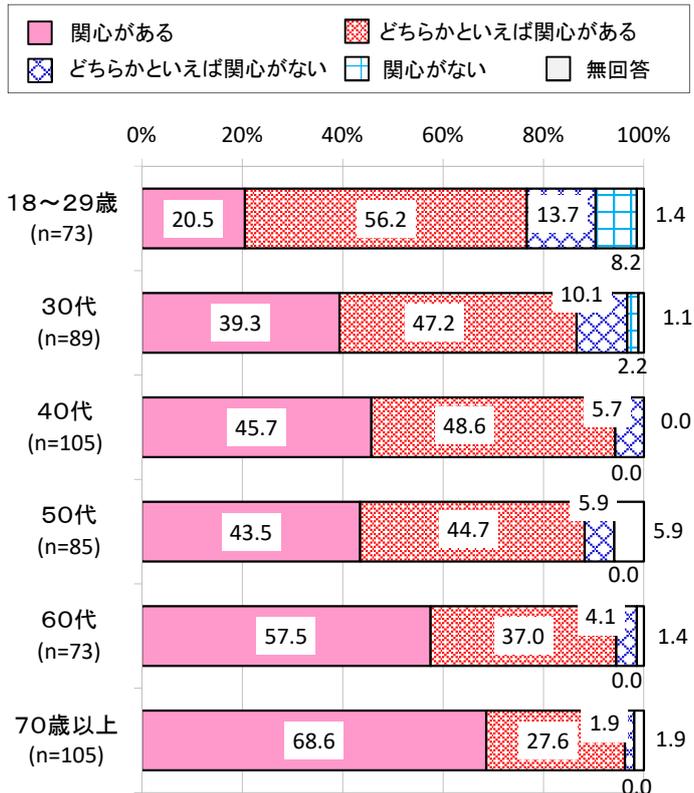
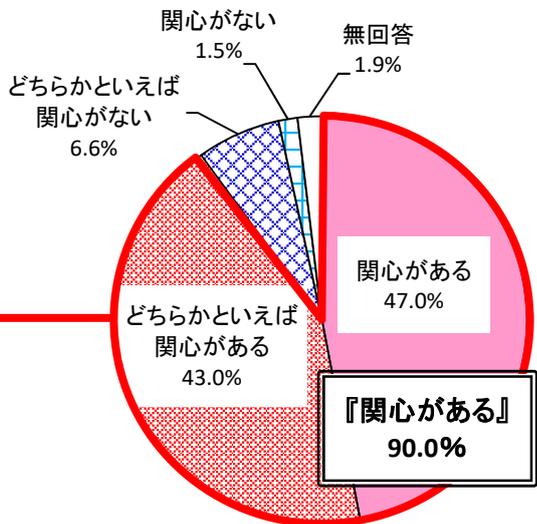
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

① 「家庭ごみ」について (N=530)

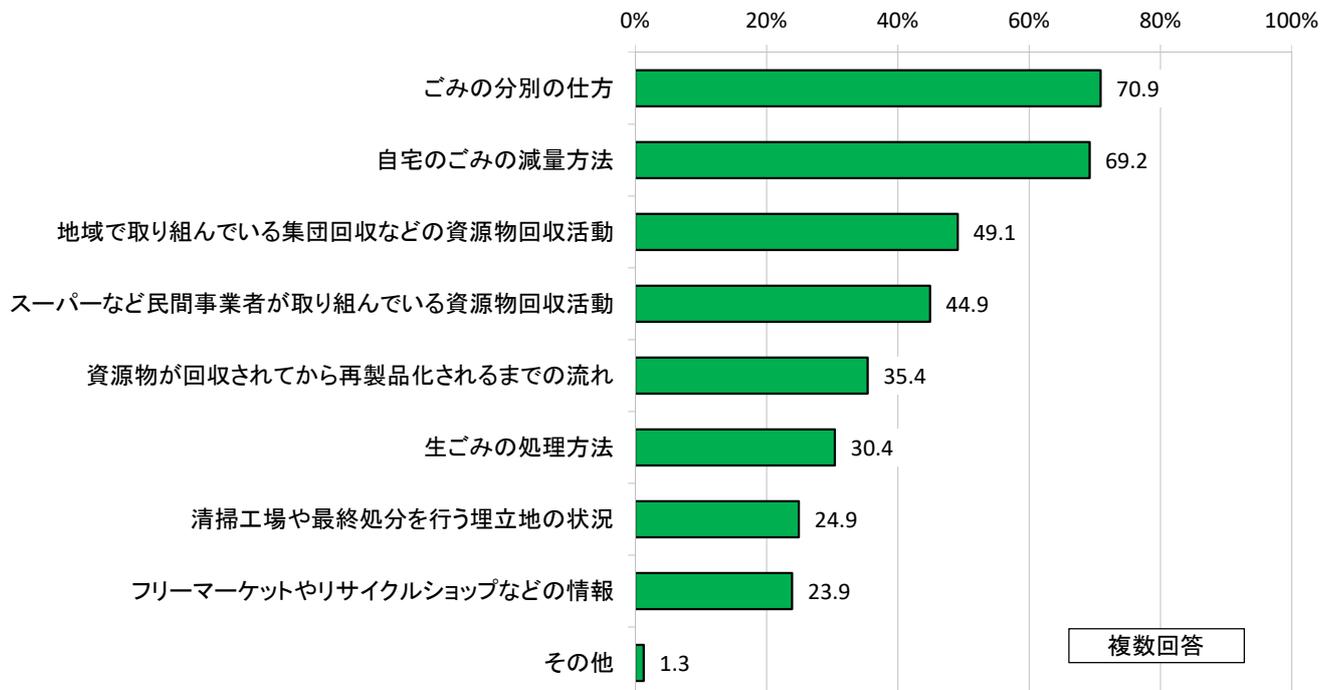
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
 例:『関心がある』=「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」

《ごみ減量・リサイクルに関心があるか》



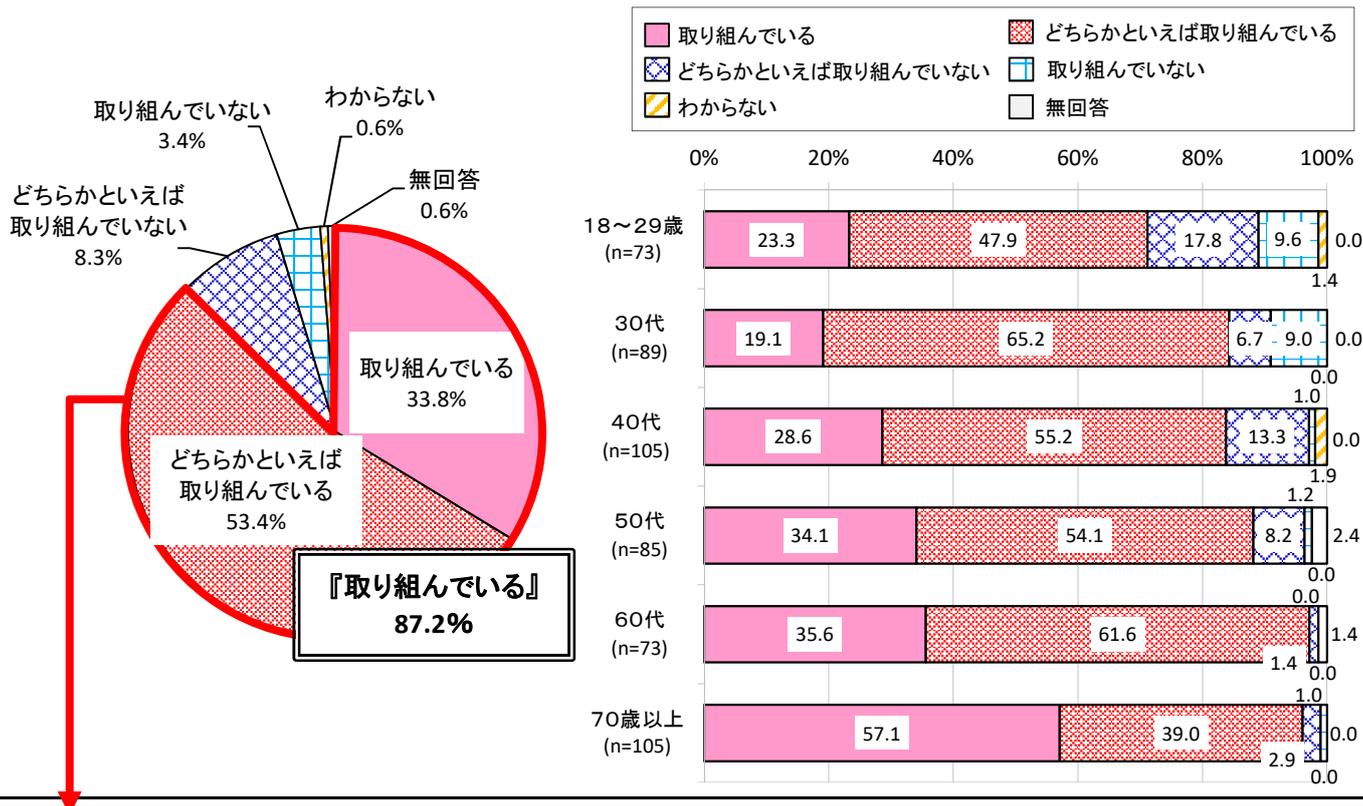
『関心がある』と回答した方は、全体の90.0%でした。年代別にみると、「関心がある」と回答した方は60代で57.5%、70歳以上で68.6%となり、他の年代よりも高い結果となりました。

《どのようなことに関心があるか》 (n=477)

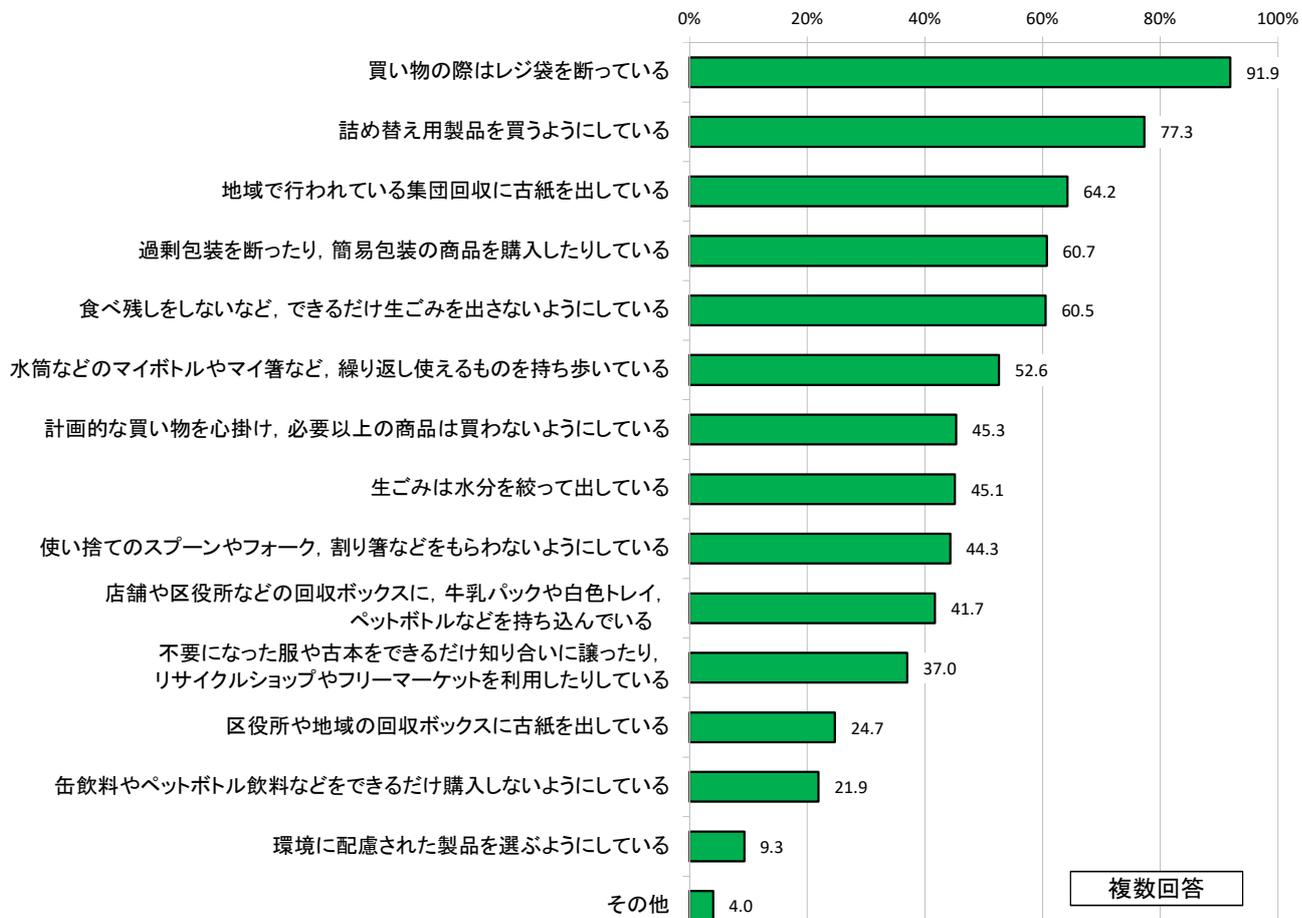


「ごみの分別の仕方」と回答した方が70.9%と最も多く、次いで「自宅のごみの減量方法」が69.2%となりました。

《最近1年間、家庭で、ごみ減量・リサイクル(3R)に取り組んでいるか》

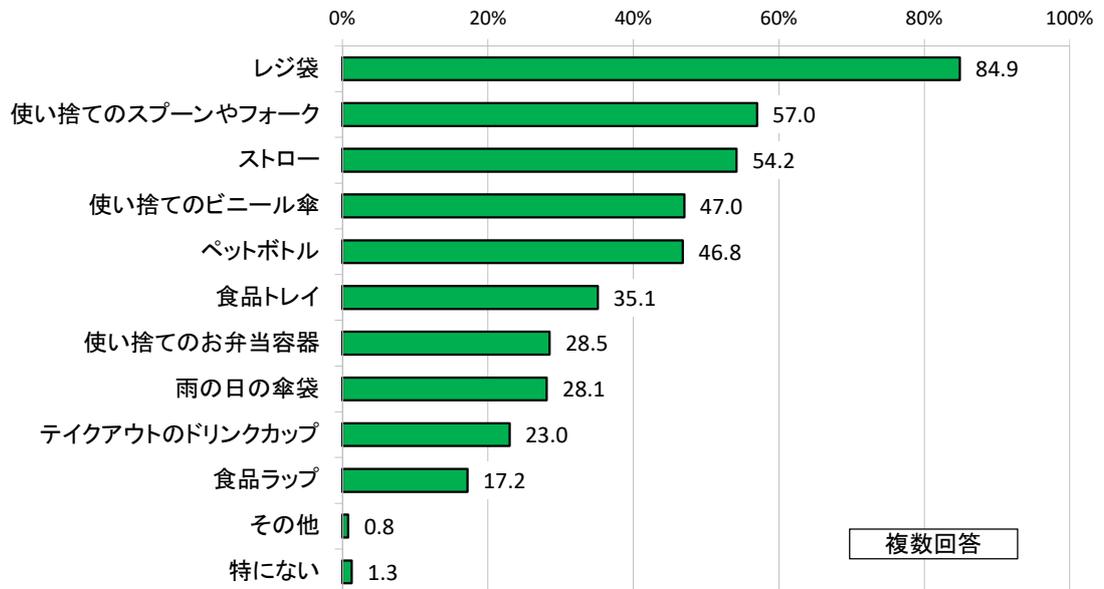


《ごみ減量・リサイクル(3R)のためにどのようなことに取り組んでいるか》 (n=506)

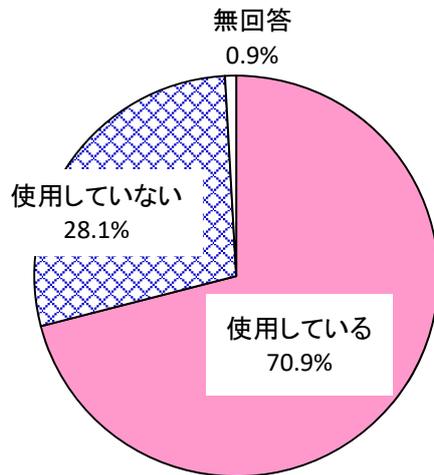


「買い物の際はレジ袋を断っている」と回答した方が91.9%で最も多く、次いで「詰め替え用製品を買うようにしている」が77.3%となりました。

《プラスチックごみ削減のために、生活の中で減らすことができそうだと思うもの》

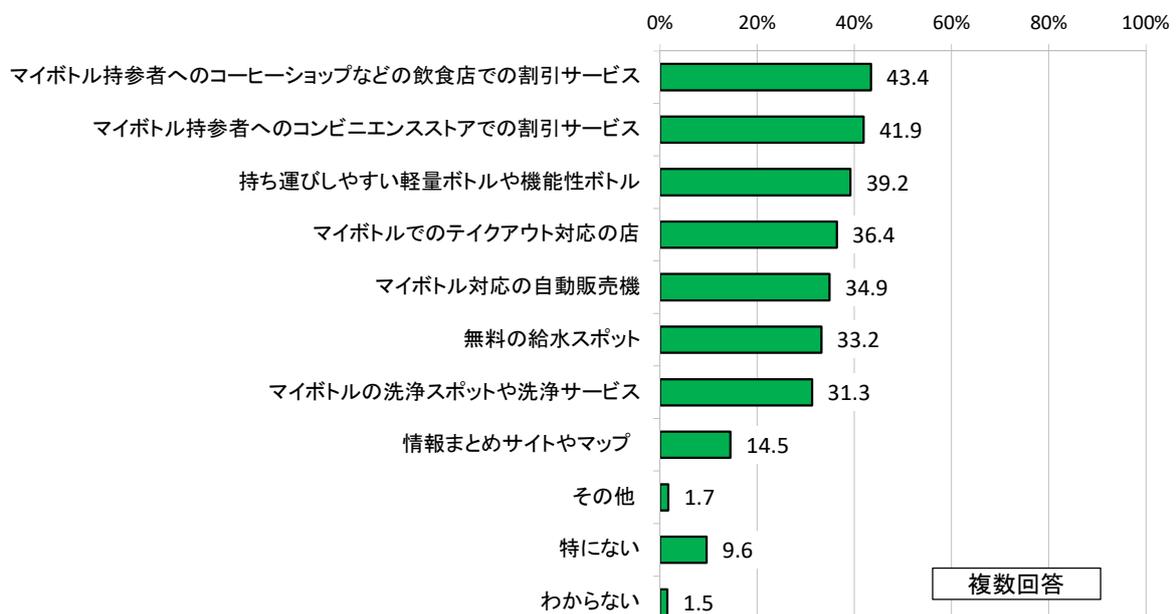


《普段、タンブラーや水筒などのマイボトルを使用しているか》

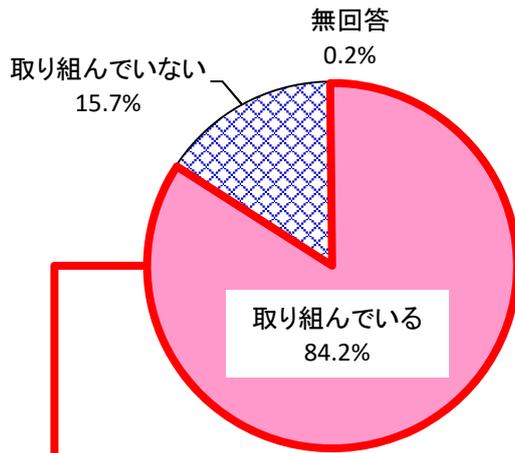


「使用している」と回答した方は、全体の70.9%でした。

《どのようなものがあればマイボトルを使用してみたい、また、継続して使用したいと思うか》

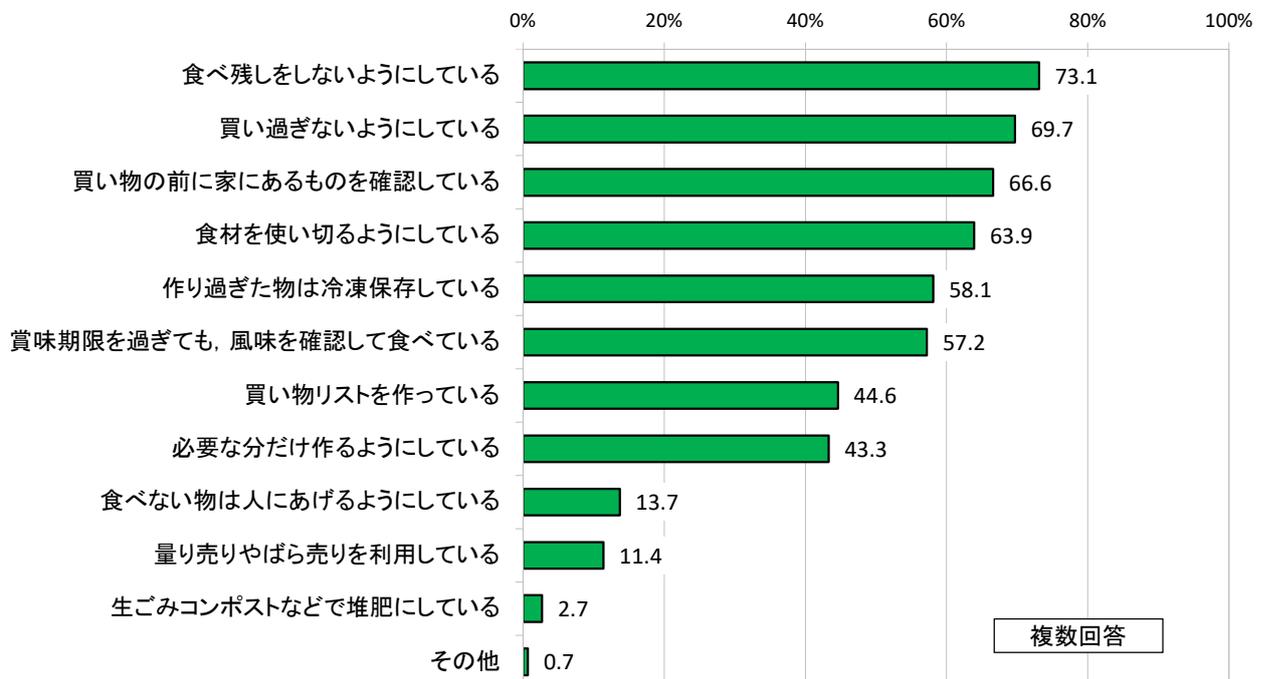


《食品ロス削減のために何か取り組んでいるか》

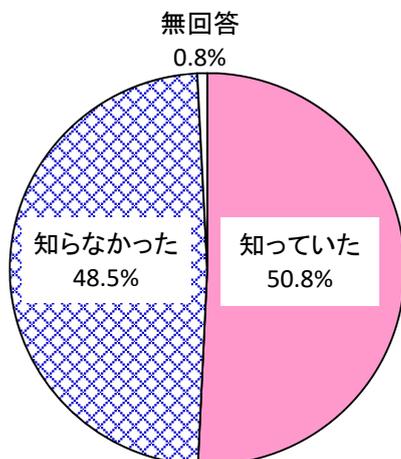


「取り組んでいる」と回答した方は、全体の84.2%でした。

《家庭で、食品ロス削減のために工夫していること》(n=446)



《フードバンクやフードドライブの取り組みを知っていたか》

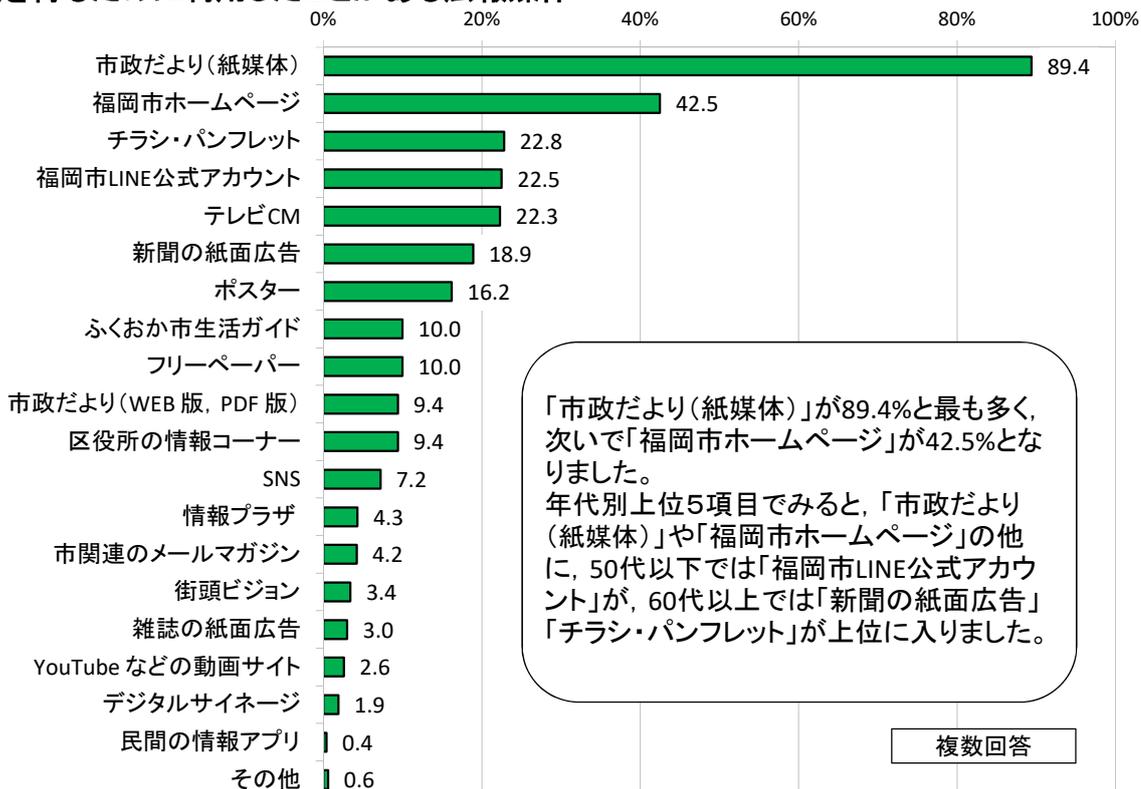


※フードバンク・フードドライブとは、企業や家庭で余っている未使用の食品を寄付していただき、必要としている方々に、無償で提供する活動です。

「知っていた」と回答した方は、全体の50.8%でした。

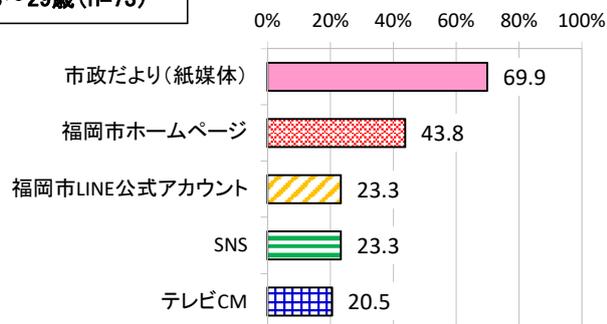
②「福岡市の広報活動」について(N=530)

◀ 市政情報を得るために利用したことがある広報媒体 ▶

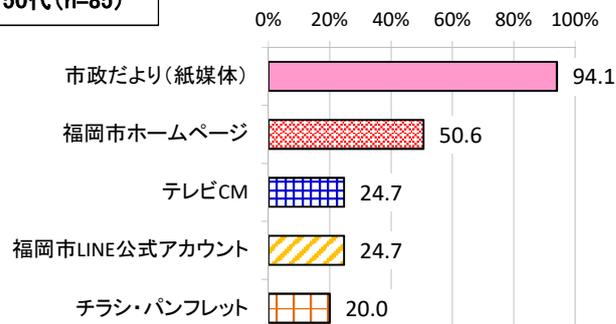


◆年代別上位5項目

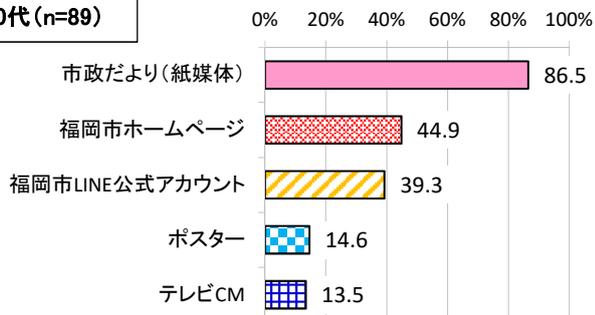
18～29歳 (n=73)



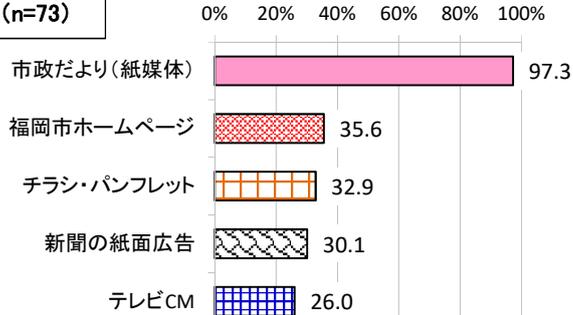
50代 (n=85)



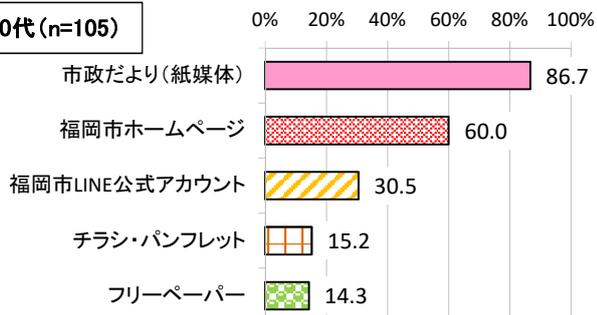
30代 (n=89)



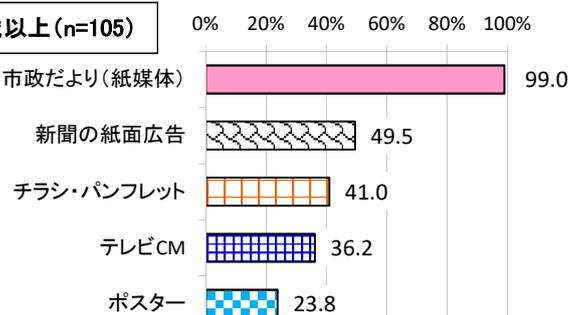
60代 (n=73)



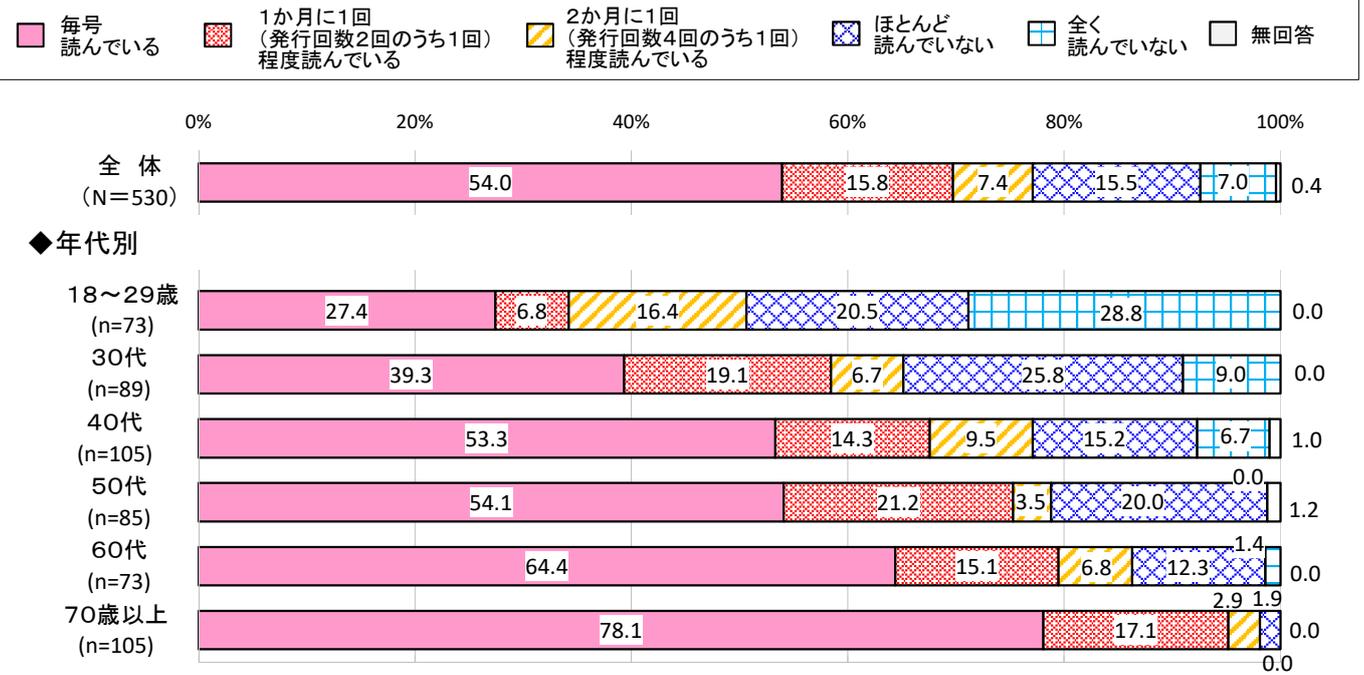
40代 (n=105)



70歳以上 (n=105)

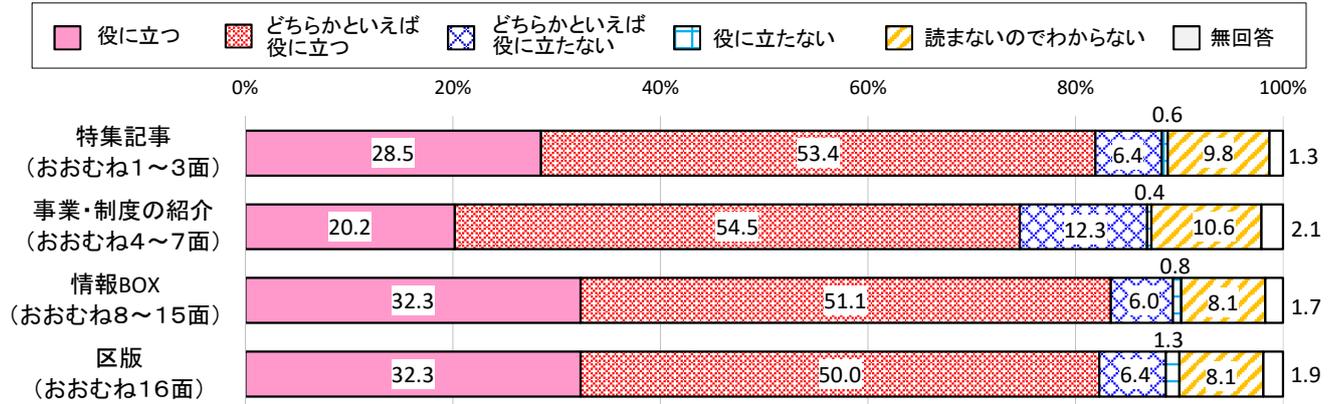


《 市政だよりを読む頻度 》



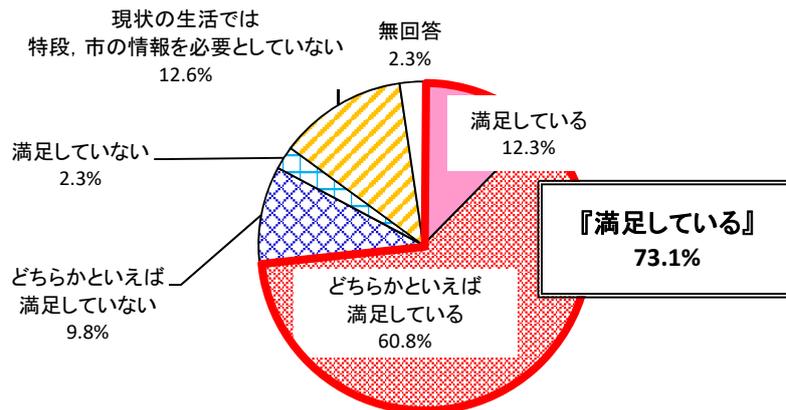
「毎号読んでいる」と回答した方は全体の54.0%となりました。年代別にみると、年代が上がるにつれて、「毎号読んでいる」と回答した方の割合が高くなっています。

《 市政だよりの各記事は役に立つか 》

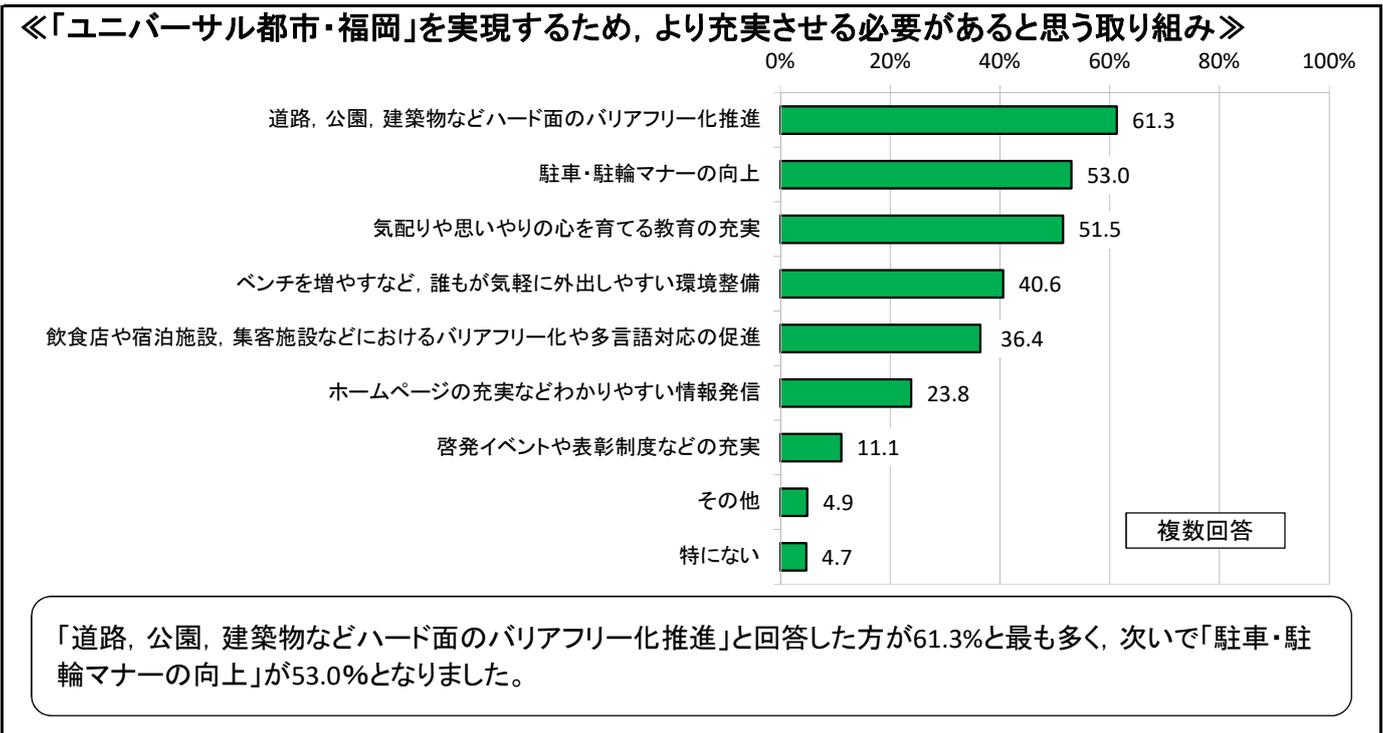
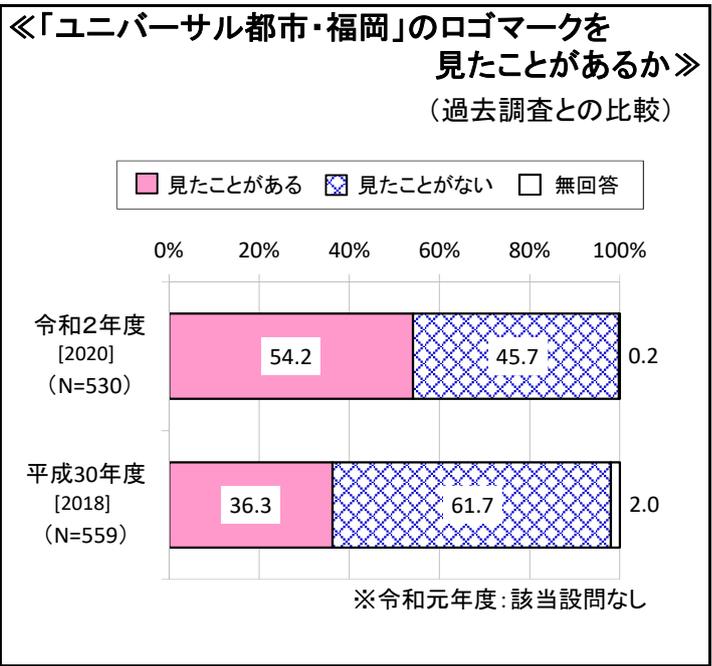
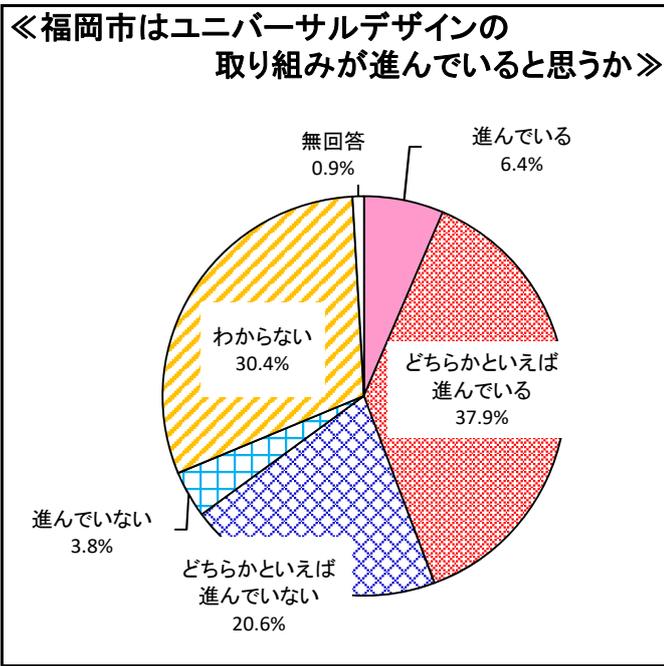
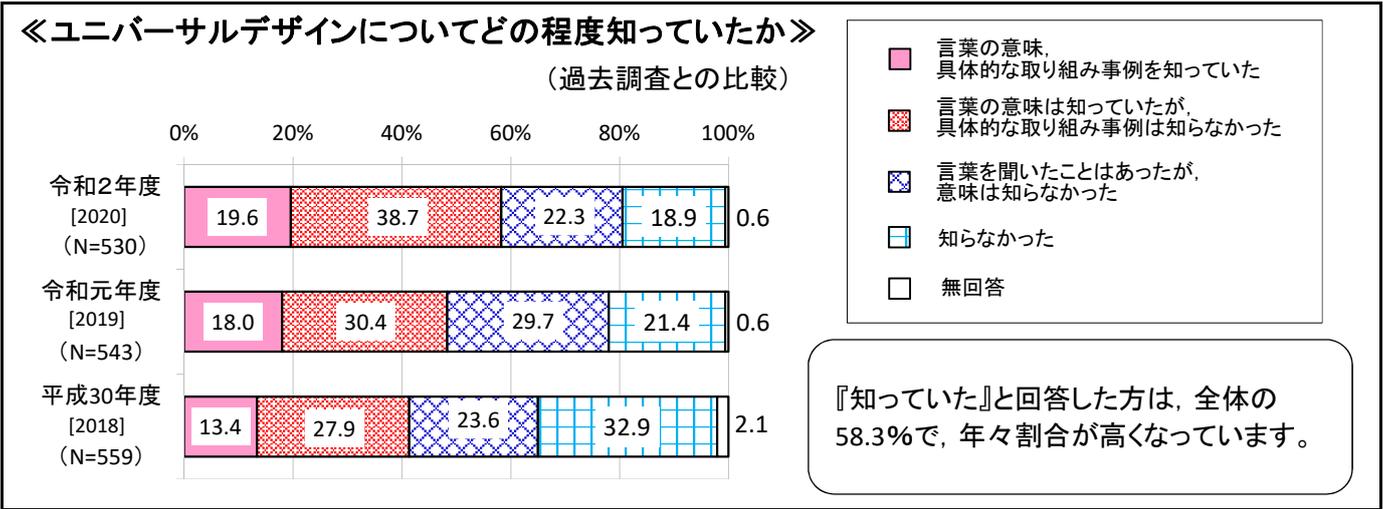


『役に立つ』と回答した方は「情報BOX」で83.4%と最も多く、次いで、「区版」で82.3%という結果になりました。

《 福岡市の情報発信に対する総合的な満足度 》

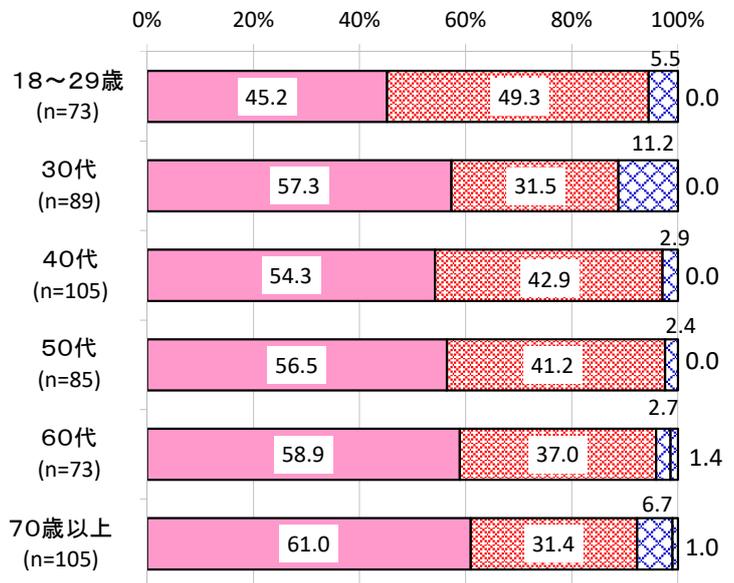
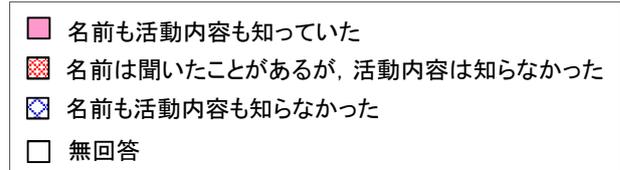
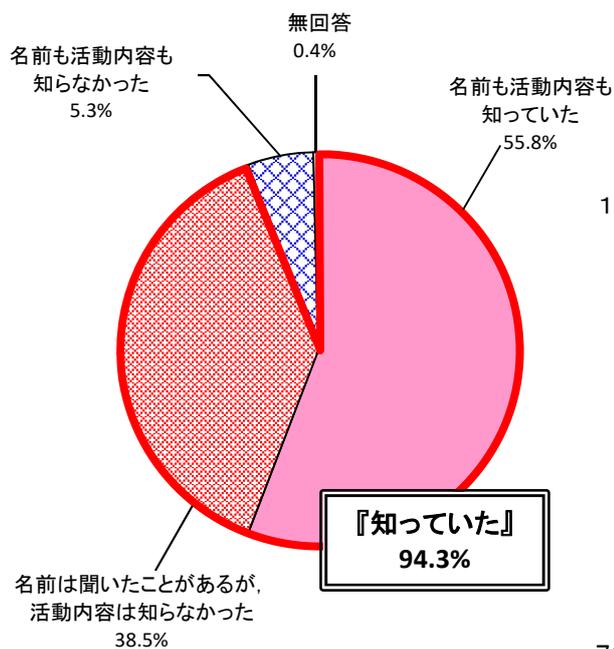


③「ユニバーサル都市・福岡」について(N=530)



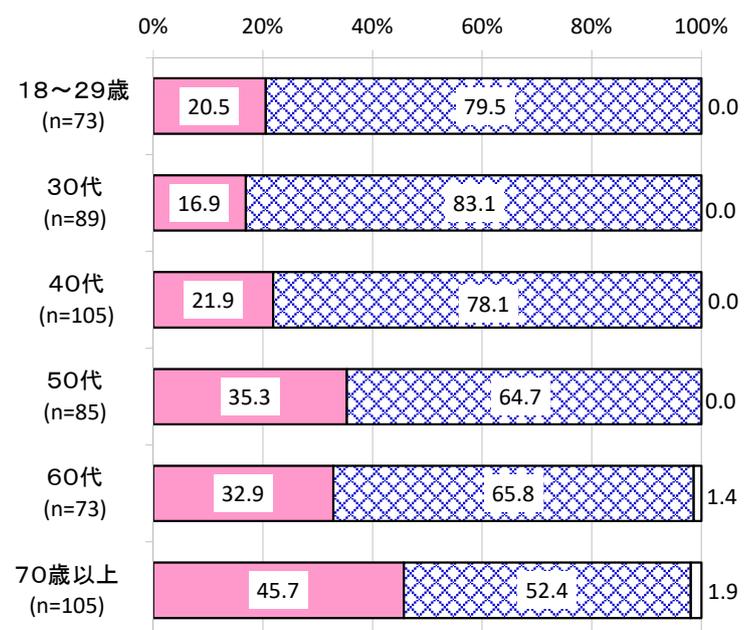
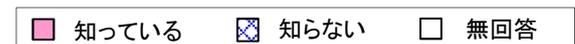
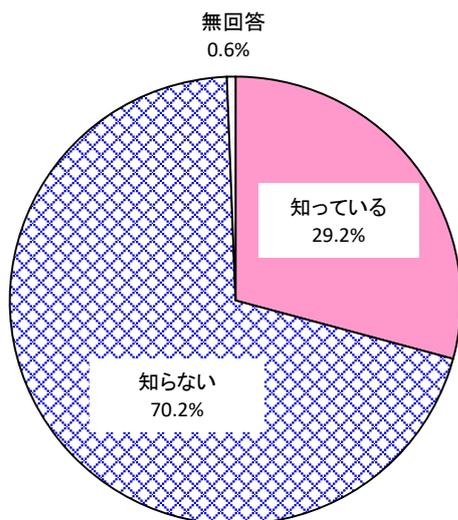
④「消防団」について(N=530)

《消防団を知っていたか》



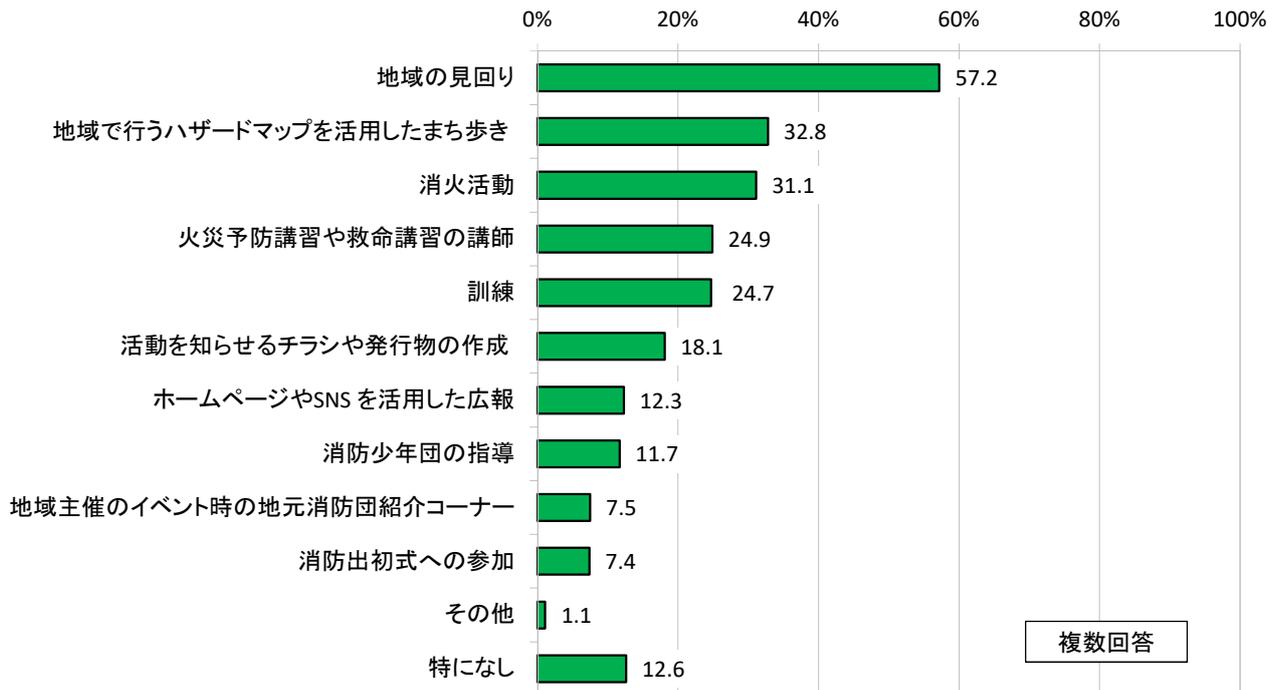
『知っていた』と回答した方は、全体の94.3%でした。年代別にみると、いずれの年代においても『知っていた』と回答した方が約9割となりました。

《お住まいの地域の消防団を知っているか》



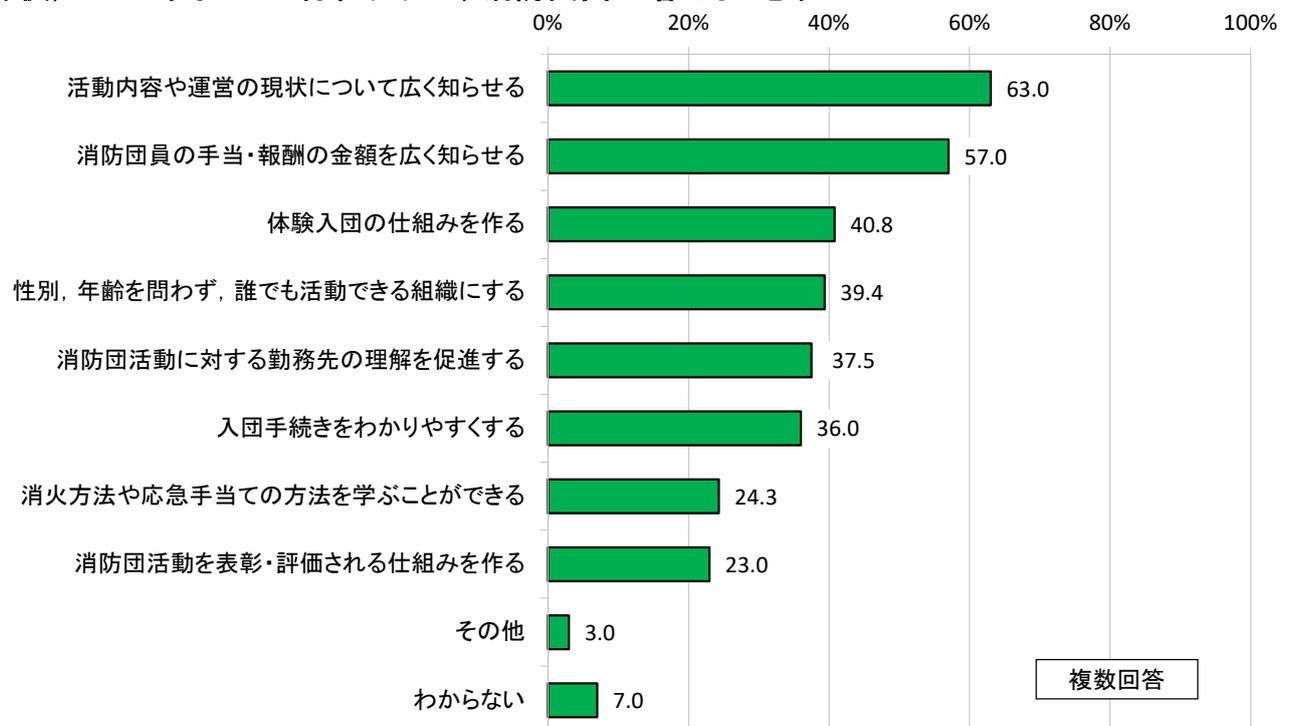
「知っている」と回答した方は、全体の29.2%でした。年代別にみると「知っている」と回答した方は70歳以上で最も割合が高く、45.7%となりました。

《仮に消防団員になったとしたら、どのような活動に取り組んでみたいか》



「地域の見回り」と回答した方が57.2%と最も多く、次いで「地域で行うハザードマップを活用したまち歩き」が32.8%となりました。

《今後、どのようなことが行われれば、消防団員が増えると思うか》



「活動内容や運営の現状について広く知らせる」と回答した方が63.0%と最も多く、次いで「消防団員の手当・報酬の金額を広く知らせる」が57.0%となりました。